

岩手競馬開催実績等について

平成 22 年 11 月 24 日
財 政 部

1. 岩手競馬開催実績について
2. 「岩手競馬経営の将来方向検討会議」の設置について

毎年このように競馬事業に関する顧問を導く。
(岩手競馬を存続させる) という意図を
中長期的検討を以てする場合。
今回の委員構成はこれ以上「経営に関する人」が
選出されたと考えている。

1 岩手競馬開催実績について（第9回水沢競馬前半まで：4/3～11/15）

（1） 発売額の計画達成状況等

（単位：百万円、％）

区分	岩手競馬発売額（H22.4.3～11.15）				広域受託 発売額
	自場発売	広域委託発売	インター ネット発売	計	
計画額（a）	8,675	4,124	2,318	15,117	4,613
実績額（b）	8,713	4,136	2,359	15,208	4,568
差額（b-a）	38	12	41	91	△ 45
達成率	100.4	100.3	101.8	100.6	99.0

（参考：対当初計画） (86.4) (96.9) (107.3) (91.9) (102.1)

○ 第2期（4/3～8/16）までの状況から2度の収支見直しを行ったため、現在計画額に対し発売実績額が上回っているが、経営は依然として厳しい状況にある。

（2） 発売額・入場者数の前年度比較（4月3日～11月15日（99日間））

（単位：百万円、％、人）

区分	発 売 額			入 場 者 数			
	平成22年度	平成21年度	前年度比	平成22年度	平成21年度	前年度比	
自 場 発 売	水沢競馬場	2,321	2,809	82.6	(211,760) 121,952	(236,525) 136,857	(89.5) 89.1
	盛岡競馬場	1,931	2,337	82.6	(226,491) 125,085	(263,236) 140,196	(86.0) 89.2
	宮古場外	216	262	82.5	(18,709)	(20,155)	(92.8)
	釜石場外	439	536	81.9	(27,592)	(33,060)	(83.5)
	種市場外	508	590	86.0	(87,760)	(89,878)	(97.6)
	安代場外	283	335	84.7	(18,265)	(19,669)	(92.9)
	大通場外	218	225	97.3	-	-	
	県内施設・計（a）	5,916	7,094	83.4	(590,577) 247,037	(662,523) 277,053	(89.1) 89.2
	横手場外	783	923	84.9	(200,150)	(246,745)	(81.1)
	山本場外	330	373	88.4	(50,969)	(53,334)	(95.6)
	三本木場外	1,089	1,336	81.5	(93,396)	(120,413)	(77.6)
	十和田場外	358	435	82.2	(60,834)	(74,324)	(81.8)
	つがる場外	92	106	87.2	-	-	
	福島場外	50	66	74.9	-	-	
	東京場外	95	117	80.6	-	-	
	県外施設・計（b）	2,797	3,356	83.3	(405,349)	(494,816)	(81.9)
	計（a+b）	8,713	10,450	83.4	(995,926) 247,037	(1,157,339) 277,053	(86.1) 89.2
広域委託発売	4,136	4,031	102.6	-	-		
インターネット発売	2,359	1,845	127.8	-	-		
合 計	15,208	16,326	93.2	(995,926) 247,037	(1,157,339) 277,053	(86.1) 89.2	

注1 発売額及び入場者数の前年度比について、同じ延べ日数に当たる開催日まで（99日間）の比較であること。

注2 入場者数について、実数は競馬開催場における入場者数を、（ ）は総入場者数（水沢・盛岡競馬場、各テレットラックにおける入場者数で、概数）を記載していること。

注3 端数調整等により、計数に異動が生ずる場合があること。

2 岩手競馬経営の将来方向検討会議の設置について

岩手競馬の現状を踏まえ、中長期的な視点に立った岩手競馬の事業運営の方向を検討するため、外部委員で構成する岩手競馬経営の将来方向検討会議（以下「検討会議」という。）を、岩手県競馬組合の構成団体である岩手県・奥州市と共同で設置し、第1回会議を11月26日（金）に開催することとした。

記

(1) 検討会議の設置について

ア 設置の趣旨

岩手県競馬組合では、構成団体から330億円の融資を受け、単年度毎の収支均衡など「新計画」のルールに沿って事業を運営し、平成19年度から3年連続で黒字を達成してきたが、発売額の低迷など依然厳しい状況である。

一方では、平成24年度以降、「地方競馬共同トータリゼータシステムへの参画」や「地方競馬とJRAとの新たな協調策の推進」など、新たな局面を迎えつつあり、そうした新たな動きの中で、岩手競馬を将来にわたり安定的に運営していくための取組を進めていくことが必要である。

このため、企業経営、競馬事業など各分野の専門家から、客観的な視点と専門的な検証に基づき、中長期的な視点に立った岩手競馬の事業運営について意見・提言をいただき、その結果を今後の事業運営に反映していこうとするものである。

イ 委員

次の分野において優れた識見を有する者で構成し、委員は11名とする。

- ① 地域政策（大学教授等の学識経験者）
- ② 法律・財務（弁護士、公認会計士）
- ③ 企業経営等（企業経営者、観光関係者、マスコミ関係者等）
- ④ 競馬事業（地方競馬全国協会の役員）

【委員名】

(敬称略・五十音順)

氏名	所属等
あめ みや とし のり 雨 宮 敬 徳	地方競馬全国協会理事
おい かわ ふ み と 及 川 富 美 人	水沢信用金庫理事長
おぎ の ひろし 荻 野 洋	(株)日本レストランエンタプライズ取締役会長
か どう ひさ とし 加 藤 久 智	(株)IBC岩手放送ラジオ放送部専任部長兼アナウンス部専任部長
くら はら むね たか 倉 原 宗 孝	岩手県立大学総合政策学部教授
さ さ き たけし 佐々木 岳	水沢青年会議所理事長

しも 下	だ 田	よし 栄	ゆき 行	公認会計士
すず 鈴	き 木	ひろ 宏	のぶ 延	岩手県中小企業団体中央会会長
はやし 林		あき 晶	こ 子	(株)瑞光つなぎ温泉四季亭専務取締役
ふじ 藤	い 井	かつ 克	み 己	岩手大学学長
やぎ 八木橋	はし 伸	のぶ 伸	ゆき 之	弁護士

ウ 検討事項

岩手競馬を将来にわたり安定的に経営していくための方策
 (「発売額の確保」「低コスト構造への転換」等)

エ 会議予定

全体で8回程度開催し、来年5月頃を目処に、意見・提言をとりまとめていただく予定。

オ その他

- ・事務局は、岩手県農林水産部競馬改革推進室とする。
- ・岩手県競馬組合事業運営監視委員会(平成19年4月25日設置)は廃止する。

(2) 第1回会議の開催について

ア 日時

平成22年11月26日(金) 13時~15時30分

イ 場所

盛岡競馬場 4階会議室

ウ 主な協議事項

- ① 座長の選出について
- ② 会議の運営について
- ③ 岩手競馬の現状について